

# 札幌市環境プラザ事業検討部会

平成24年度第2回実施概要

## 1 日 時

平成25年1月25日（金）午後7時～午後9時

## 2 会 場

札幌エルプラザ公共施設2階 環境研修室1・2

## 3 出席者

### (1) 委 員

明田川委員、内山委員、今委員、白崎委員、新保委員、長嶋委員、成田委員、本間委員、宮森委員、森山委員

### (2) 札幌市

札幌市環境局、環境計画課長、環境教育担当係長、環境教育担当

### (3) 事務局

財団法人札幌市青少年女性活動協会市民参画部長、市民参画課長、環境係長、指導員、臨時職員、サポートスタッフ

## 4 会議次第

### (1) 開 会

### (2) 札幌市環境局あいさつ

### (3) 議 事

①平成24年度札幌市環境プラザ事業報告（中間）

②平成25年度札幌市環境プラザ事業計画

### (4) 札幌エルプラザ公共4施設館長あいさつ

### (5) 閉 会

## 5 議事概要

### (1) 平成24年度札幌市環境プラザ事業報告（中間）

#### 【主な質問】

(質問) 「子ども向け広報の充実」を挙げているが、今現在、インターネット以外のツールについてどのようなものがあるか。

(回答) リーフレット等が中心である。今後は子ども向けリーフレットやイベントカレンダーの作成を考えている。

(質問) 各団体および施設との連携はどこまでを目標としているのか。

(回答) 事業等をともに作り上げる機会をさらに深め、互いのリソースを生かしたプログラムの提供を行うネットワークづくりを目指したい。

(質問) 幼児対象事業など参加者は何を見て申し込んでいるのか。

(回答) 広報さっぽろや当財団作成広報誌「あ・そ・ぼ」、ホームページなどが中心であるほか、幼児対象事業等は参加者の口コミによる申し込みが多い。

(質問) 参加者数などの数値ではなく、質の評価がとても難しいが重要と思われる。評価の方法はどのように考えているか。

(回答) 札幌市の場合は、行政評価のスキームの中で実施をしており、指定管理者の自己評価を受け所管局評価を行う。評価項目は数値だけではなく、アンケートなどの参加者満

足度も重要である。事業の効果という観点では、参加後における参加者や自身のフィールドでの活動の発展や行動変容という視点での評価も重要である。(札幌市)

**【主な意見および提案】**

- ◆アクティビティなどプログラムの一般化が挙げられているが、シチュエーションなどが共通していないと一般化は相当難しい。一定の条件下での一般化というような形を行えば、評価が高くなるのではないか。
- ◆目標のところについて、もっと具体性を持たせると、違う結果が出てくるのではないか。
- ◆年度を重ねるごとに充実した内容になってきており、高等教育機関との連携等も非常に高い評価ができるが、強みと弱みを把握し事業を重点化していくことが必要。
- ◆事業はできるだけオープンにすると、いろいろな人が参加しさまざまな意見が入ってくることでよくなっていく。

(2) 平成25年度札幌市環境プラザ事業計画

**【主な質問】**

(質問) NPO団体とのつながりは、現在どのようになっているのか。

(回答) 各種事業を中心として積極的に連携を図っているものの、市内で活動するNPOの総体から勘案すると十分とはいえない状況である。

**【主な意見および提案】**

- ◆情報が集り、欲しい人が手を伸ばしてくる、そういう中継となる場所になればよいと思う。長期的な視点を持ち、さまざまな情報やものが集まってくる場所になってほしい。
- ◆今、中小企業ではCSRなどを「やらなければならない」風潮にある。環境プラザは、札幌市が強くかかわっているところであるのだから、何か相談が来たら環境プラザに回してください、一緒になって考えますという網を張っておくとよいのではないだろうか。
- ◆パブリックコメントなど、市民の政策提言力の向上にかかわる学習機会の設定については非常によいと思う。情報をさらに知識にしていく場としての試みは非常に期待できる。
- ◆「もっとフレンドリー化計画」等、親しみやすくしていく活動があると、現在の活動内容がさらに広がり、魅力的になるのではないか。
- ◆強化するというだけでなく精選していく必要もあるのではないか。環境プラザの取り組みをさらに精選していけば、活動の充実につながっていくのではないか。
- ◆環境プラザの存在を知っていただくためのPRが必要。何か特徴的なPRを、一発、どんとやってみるのもよいのではないか。
- ◆環境プラザの「場所」「立地」は明確な強みであり、十分に生かすことが重要。展示コーナーを生かす方法として「企画展示」などを実施するとよいのではないか。また、環境研修室の臨時展示場化なども考えられるのではないか。
- ◆さまざまな取り組みを充実させていく中で、わかりやすさをどこまで見せていくのが重要である。それは、さまざまな関係性をつくっていく中で対話の部分につながっていくと思われる。これを、どのように具体的な内容を事業計画の中に入れていくのが重要である。

以上